

アイリッジ、iOS 関連技術者のためのカンファレンス 「iOSDC Japan 2023」にゴールドスポンサーとして協賛

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、2023年9月1日（金）～3日（日）に開催される iOS 関連技術者のためのカンファレンス「iOSDC Japan 2023」に、ゴールドスポンサー&T シャツスポンサーとして協賛します。アイリッジではアプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」の SDK 提供およびマーケティング効果の高い O2O/OMO アプリの受託開発において iOS での開発を行っており、iOSDC Japan には 2018 年より協賛しています。



iOSDC Japan 2023 開催概要

日程	2023年9月1日（金）～3日（日）
場所	早稲田大学 理工学部西早稲田キャンパス オンライン（ニコニコ生放送）
対象	iOS 関連技術およびすべてのソフトウェア技術者
主催	iOSDC Japan 2023 実行委員会（実行委員長 長谷川智希）
共催	早稲田大学 理工学術院, 早稲田大学グローバル科学知融合研究所
協力	WASEDA-EDGE 人材育成プログラム, Beyond 2020 NEXT PROJECT, NEW
Web サイト	https://iosdc.jp/2023/
公式 X (旧 : Twitter)	@iosdcjp

アイリッジでは今後も、iOS エンジニアコミュニティへの貢献を継続してまいります。

アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX（アップボックス）」 <https://iridge.jp/service/appbox/>

「APPBOX」は、30 種類以上の SDK（モジュール）をそろえたアプリビジネスプラットフォームです。必要なモジュールを組み合わせることで、スクラッチ開発・パッケージ・機能拡張のすべてのアプリ開発と、アプリの運用・マーケティング施策に対応できます。

1. 工数/工期を抑えたスクラッチ開発

モジュールの活用により通常のスクラッチ開発に比べて最大 3 割程度の工数を削減します。

2. 捨てずに拡張できるパッケージアプリ

最短 1 か月でミニマム機能のアプリを開発し、アプリ利用者が増えてきたらスクラッチ開発に移行も可能です。

3. ベンダーフリーで内製化も妨げない機能拡張

ベースとなるアプリの開発元を問わず本格的なエンタープライズ型同様の機能追加がおこなえます。

4. 高速 PDCA を可能にするマーケティング支援機能

全画面のレイアウトをアップデートなく変更でき、その効果はもちろん、プッシュ通知等も AB テスト可能です。

5. 「APPBOX コネクト」をはじめとする柔軟な他社連携・カスタマイズ

データ連携部の手続きを共通化し、会員システムや POS との連動アプリも通常より簡単に開発できます。

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline : オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動) 支援を行っています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけた OMO アプリの MAU (月間アクティブユーザー) は 8,000 万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。

今年 4 月からは急激な時代の変化に迅速に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。「APPBOX」ではスクラッチ開発 (ゼロからの開発)、他社開発アプリへの機能追加、パッケージアプリ提供が可能で、パッケージアプリでは従来のアプリを捨てることなく、スクラッチ開発に移行しての機能刷新も可能です。

※記載されている各社の会社名、サービス名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。